

令和4年大船渡市教育委員会第8回定例会会議録

1. 日 時

令和4年8月24日（水） 午後2時から午後3時10分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

4. 説明等のため出席した職員

教 育 次 長	遠 藤 和 枝
生涯学習課長	山 岸 健悦郎
教育研究所指導係長	鈴 木 恒 希

5. 議 事

議案第1号 令和4年大船渡市議会第3回定例会に提案する議案（教育に関する事務について定める部分）を作成することについて

6. 報告事項

（教育次長）

- ① 令和4年度大船渡市立博物館教育普及事業「海辺の生物観察会」の実施結果について
- ② 令和4年度大船渡市立博物館教育普及事業「教員のための博物館の日」の実施結果について
- ③ 令和4年度大船渡市立博物館教育普及事業「個人所蔵くん蒸サービス」の実施について

（学校教育課）

- ① 夏休み中の児童・生徒の様子について
- ② 第3回市内小中学校長会議の内容について
- ③ 令和3年度学校給食費収納状況について

（生涯学習課）

- ① 令和4年度青少年体験学習事業（英語スクール）「英語体験教室」の実施状況について
- ② 令和4年度青少年体験学習事業「陶芸体験学習」の実施状況について

7. 会議の概要

（教育長）

- ・ 令和4年大船渡市教育委員会第8回定例会の開会を宣言する。
- ・ 令和4年第7回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・ 諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

（教育次長）

- ・ 別添資料等により報告する。

（指導係長）

- ・ 学校教育課分について、追加報告する。

（生涯学習課長）

- ・ 別添資料等により報告する。

（教育長）

- ・ 追加報告を求める。
- ・ 追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

（教育長職務代理者）

- ・ タブレット端末の家庭への持ち帰りについて、1学期中は週1回、夏休み中は期間を通して実施されたが、反応と今後の課題は何か。

（指導係長）

- ・ オフラインでの使用頻度は高く、AIドリルは通常の宿題とは異なるため、意欲的に取り組んだようだ。今後の課題は、家庭でのネット環境整備率の向上である。

（教育長職務代理者）

- ・ 家庭への持ち帰りの回数は、2学期以降、週1回から増やす予定があるか。

（指導係長）

- ・ 週1回を標準としているが、週2回以上としている学校もあるため、ばらつきがないよう平準化していく。

（教育長職務代理者）

- ・ タブレットを誤って壊した事例はあったか。

（指導係長）

- ・ 夏休み期間中は、なかった。

（委員）

- ・ Wi-Fi環境の整備について、家庭にも引き続き協力を得られるように進めてほしい。

（指導係長）

- ・ 家庭の経済的事情を考慮しながら、進めていく。

（委員）

- ・ デジタル教科書の導入にあたり、学校現場の通信環境に問題はないか。

(指導係長)

- ・デジタル教科書は、教師用、児童生徒用ともインターネット回線を介さず、直接インストールするので、不具合は生じないと思う。

(委員)

- ・学力検査 NRT 検査結果が、平成 27 年度から令和 4 年度にかけて徐々に低下しているとのことだが、具体的な課題として、直ちにに取り組めることはあるか。

(指導係長)

- ・調査結果の分析を行い、各学校に低下している部分を意識して取り組むよう指導している。

(委員)

- ・教育研究所の年度計画や成果と課題を、見える形で理解しやすいよう工夫をして示してほしい。

(教育長)

- ・学力検査結果は、抽出する学校規模などによって上下することがある。教員の授業力、指導力が如実に表れているとも思うが、県平均より下回っている分野を分析して、各学校に示している。ここ 3 年間は、学力向上委員会で小学校英語を重点的に取り組み、その成果として中 1 の英語が県平均を上回った。今年度は、国語、算数・数学、英語を重点教科とし、授業研究会などを行う予定である。

(教育長職務代理者)

- ・事後の指導が大事であるため、学力検査結果を授業で活かす時間を確保してほしい。

(委員)

- ・学習状況調査結果から、小学校国語の「書く」ことについては、文章を書く基本をしっかり指導することが大切だ。算数は、思考力を問う問題に取り組む必要があるのではないか。また、理科は、仮説を立て、実験し、考察するという探求の流れが特に高学年で大事だと思うので、授業の形骸化に注意が必要である。

(教育長)

- ・小学校は、「ねらい・課題・まとめ」と発展する課題解決型学習だが、中学校は、学習の難易度が高くなるため、教員の指導力が大きく問われる。講義型の授業だけではなく、子どもたち自身が実験、検証し、知識の習得と今後の課題をまとめることができれば、授業が楽しくなり、成績が上がっていく。

(委員)

- ・親子を中心としたイベントは好評だが、成人向けの講座は参加率が低いと以前聞いた。今後の計画や参加率を上げるための取組について示してほしい。

(生涯学習課長)

- ・中央公民館では、明治大学連携講座と IT 教室を予定している。IT 教室は、高齢者に人気があり、参加者も多い。今後は、40～50 代に初心者向けのスマホ教室などを計画する。明治大学連携講座は、リカレント教育に位置づけ、高校生、社会人、リタイアした人などが申込みをしている。カメラホールでのリモートによる講座だが、参加者からは自宅でリモート受講したいとの要望も寄せられているので、今後検討する。開催日や時間についても、アンケート結果を踏まえ、休日や夜間の設定を検討する。

(教育長職務代理者)

- ・教職員の時間外勤務の主な要因は、何か。

(指導係長)

- ・教材研究、生徒指導事案の対応、外部機関との連絡調整などである。

(教育長職務代理者)

- ・ICT の活用が、精神的負担になる教員も少なからずいるので、支援の充実が必要であるが、それが時間外勤務の要因にならないようにしなければならないと思う。

(指導係長)

- ・ベテランの先生ほど、ICT への抵抗感があるのは実感としてある。初心者向け研修会の個別対応をしているが、一時的に時間外勤務が増えたとしても、操作等を習熟し、授業に生かしてほしい。AI ドリルにはプリント機能があるため、印刷業務などが削減され、時間外勤務が縮減すると思う。

(教育長)

- ・6～7月は年度初めよりも月80時間を超える人数が少なくなっている。今後、新人戦に向けた部活動や文化祭などで、子どもたちが放課後まで残っていると時間外勤務が増えることが予想される。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。

(教育長)

- ・日程第2、議案第2号は資料が部外秘のため、秘密会にしたいと考えるがよろしいか。

(教育委員)

- ・異議なし。

(教育長)

- ・それでは、会議規則第13条第1項の規定により、秘密会とする。
一般傍聴人は退席を願う。

～議案第1号 令和4年大船渡市議会第3回定例会に提案する議案（教育に関する事務について定める部分）を作成することについては、秘密会のため会議録省略～

（教育次長が説明し、教育長が採決を諮る。全員異議がなく、議案第1号は原案どおり可決される。）

(教育長)

- ・秘密会を解き、会議を続行する。
- ・その他、質問・意見等がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和4年大船渡市教育委員会第8回定例会の閉会を宣言する。

会 議 録 作 成 者 教育長 小 松 伸 也

会 議 録 署 名 者 教育長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員